

令和 6（2024）年度 資源評価調査状況報告書（拡大種）

タイワンガザミ熊本海域

対象水域	熊本海域	参画機関名	熊本県水産研究センター
------	------	-------	-------------

- ・ 令和 4 年度資源評価調査報告書を公表済み（https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2023/03/report_2022_164.pdf）、次回令和 7 年度を予定

(1) 調査の概要

- ・ 機構は、調査指針および資源評価調査状況報告書の取りまとめを実施
- ・ 熊本県は、生物情報収集調査を実施

(2) データ収集状況

- ・ 県内2漁協における2016年～2022年の日別水揚げデータ、県内1市場における2019年～2022年度の日別水揚げデータを収集済み。2023年度以降の県内2漁協および1市場における日別水揚げデータを収集中
- ・ 全甲幅長測定と雌雄判別を、2020年度に59個体、2021年度に42個体について県内主要1市場において実施し、2022年度に154個体について県内主要2市場において実施済み
2023年度以降の3市場における全甲幅長測定と雌雄判別を実施中

(3) 生物学的特性

- (1) 分布・回遊：令和 4 年度資源評価調査報告書を参照（https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2023/03/report_2022_164.pdf）
- (2) 年齢・成長：同上
- (3) 成熟・産卵：同上
- (4) 被捕食関係：主要な餌は貝類で、他に魚類やカニ類も捕食する（諸喜田 1988）

(4) 備考

- ・ 農林水産統計年報では、タイワンガザミは「がざみ類」に含まれており、タイワンガザミのみの漁獲統計の収集が出来ない

(5) 引用文献

Kumar, M. S., Y. Xiao, S. Venema and G. Hooper (2003). Reproductive cycle of the swimming crab, *Portunus pelagicus*, off southern Australia. *Journal of the Marine Biological Association of the United Kingdom*, 83: 983–994.

三宅貞祥 (1983): 原色日本大型甲殻類図鑑 (II)' 保育社, 大阪 84.

Potter, I.C., P.J. Chrystal and N.R. Loneragan (1983) The biology of the blue manna crab *Portunus*

pelagicus in an Australian estuary. Mar. Biol., 78, 75-85.

渡辺利明 (1998) タイワンガザミ. サンゴ礁域の増殖 諸喜田茂充編著, 緑書房, 東京, pp.190-197